

令和6年度 第7回 江府町学校運営協議会 議事録

■期 日：令和7年3月17日（月）

■時 間：19:00～20:00

■場 所：日野川校舎 多目的ホール

<会議出席者>

【委 員】宮本会長、井上裕吉副会長、井上廉女委員、北村委員、高津委員、遠藤委員、船越委員、加藤千恵子委員、景山委員（欠席：藤原委員、加藤浩美委員、川端委員）

【事務局】富田教育長、持田指導主事、稲村副校長、山本教頭、竹田 CSD

1 開会

会長挨拶

2 報告

・コミュニティ・スクール制度化 20 周年記念フォーラム（竹田 CSD）

3 協議

・令和7年度奥大山江府学園の学校経営方針について

○説明（景山校長）

○質疑・応答

委 員	ICT の活用について、ツールとしては便利だが、メディアとの付き合い方についての指導をもう少しした方が良いのではないかと。 また、不登校の問題についても今まで以上にしっかり取り組んで欲しいと思う。
景 山 校 長	ICT については引き続き功罪を伝えていく。タブレットの使用方法について、学校で使用するものには制限をかけてあるので、自由度は低い。学校で使用することで問題が出てくるというよりも、個人で持っている物も含め、メディア端末との付き合い方を学年に合わせて指導していく必要がある。不登校について、学校でも課題だと認識している。十分な児童生徒への理解と、重点②としている「居場所のある学級づくり」、「満足感のある授業」を徹底することが重要だと思う。そしてこれは、不登校の子に限った話ではなく、全ての児童生徒が楽しいと思える学校づくりのために必要である。
委 員	経営方針は、全ての教員が全てを実現していくのか、それともそれぞれの重点項目などについて担当者があるのか。
景 山 委 員	それぞれの重点項目、基盤についてチームを組んで、担当チームが中心となって進めていく。チームの中で考えたりした事については全体に共有されるようになっている。
委 員	目標に対して達成基準のようなものはあるか。
景 山 委 員	明確には無いが、児童生徒や保護者へのアンケートで肯定的な意見がどの割合あるかなどで、ある程度は把握が可能と考える。
委 員	これからの時代、AI を取り入れ、学ぶ事が必要になってくると思う。学校ではどう考えるか。
景 山 委 員	この先必要になるとは思っている。すぐに何か、というわけにはいかないが、考えていかなければならないと思う。

宮 本 会 長	タブレットばかりを使っていると、記憶力や書く能力が落ちてしまうのではないかと、その辺りはどう考えているか。
---------	---

景 山 校 長	漢字練習などについては、今まで通りの学習方法をとっている場面もある。 しかし、今までは記憶する必要があったことも、端末に全て入っているので記憶する必要がなくなっているような時代になった。本当に先々を考えた時に、学力の転換点に来ているような気がしている。発想する力や、人にうまく説明する能力など、そういったものが重要になっていくだろう。とは言え、高校受験のシステムはまだ変わっていないので全てそちらの能力ばかりを追うわけにもいかない。特色入試が始まったとは言え、まだ過渡期なので、どちらの力も伸ばしていかなければならないと考えている。
---------	---

景 山 校 長	学校運営協議会とは、学校運営を協議する場である共に、子どもを健やかに育てるという意味では地域も子育ての主体であると考え、学校だけで完結するわけではない。学校外を含めて子どもを育てていくということに繋がっている。この学校経営方針をふまえた上で「地域では何ができるか」などについて、話し合っていたけるとより一層連動した形で良い。
宮 本 会 長	地域活性化部については、もともとの発想は子どもと地域が触れ合うことで地域が活性化されるのではないか、という発想から作られているので、校長先生の仰る通りだと思う。

委 員	ふるさと魅力発信科のカリキュラム表について、新しい物があれば欲しい。
景 山 校 長	新年度に用意する。

○承認

宮 本 会 長	令和7年度奥大山江府学園の学校経営方針について、承認する。
---------	-------------------------------

4 その他

- ・令和7年第1回学校運営協議会について、4月下旬～5月を予定

5 教育長挨拶

6 閉会